

# かんわだより

## 1. 訪問看護について

第27回の緩和ケアセミナーにおいて、「訪問看護ステーションひかり」の大庭美智子先生に訪問看護について講演して頂きました。訪問看護で実際に行っていることを事例を交えて紹介されたり、介護保険利用者と医療保険利用者の負担額の違い等を分かりやすく講演され、とても有意義な講演でした。また、質疑応答では、患者の情報収集を行うため、退院前に連絡が欲しいとの要望もされ、今後連携を行う上での課題の一つとなるように思いました。つなぎ目のない医療を提供するために情報を共有することが重要であると感じました。

### 訪問看護とは

- 在宅で療養している方の予防的支援から看取りまでを支える。
- 本人だけでなく家族の健康状態もチェックし、介護負担の軽減やより良い家族関係が保たれるよう支援する。

## 2. 院内のエンゼルケアの進捗状況

現在、緩和ケアチームではエンゼルケアを推進しています。セミナーで山口県エンゼルケア研究会の塩瀬先生に講演して頂いたり、山口県エンゼルケア研究会に毎月参加したりと、当院のエンゼルケアの向上に努めています。しかしながら以下のような理由から院内で統一したケアが行われていないという現状が、アンケート等から明らかになりました。今後はこれらの問題点を解決し、患者・家族により良いケアを提供できるよう努めたいと思います。エンゼルケアに関して疑問等ありましたら、緩和ケアチームへご相談ください。

### 院内で統一されたケアが行われていない理由

- 夜間等、人員が少ない時はケアを行う余裕がない。
- 病院スタッフ全体にエンゼルケアの知識が普及していない。
- ケアを行う際に使用する道具は、病院で統一しておらず、各部署で購入しているため、それぞれ異なる道具を使用している。

## 3. TOPICS

- ①10/16、山口県教育会館において第35回山口県緩和ケア研究会が開催されます。特別講演は、「遺族ケアについて」というテーマで埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科の大西秀樹先生が講演される予定となっています。楽しい語り口で、引き込まれるような講演をされる先生です。興味のある方はぜひ参加してください。